

令和 2 年 度
事 業 報 告 書

公益財団法人 山口県学校給食会

目 次

令和 2 年 度 事 業 報 告 書

I	役員・評議員・職員等の数	2
II	学校給食会の事業	2
1	新型コロナウイルス感染拡大のため中止等になった事業	3
2	学校給食用物資の安定供給に関する事業	3
3	学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業	5
4	学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業	6
5	車両関係修理	8
6	修繕	8
7	設備投資	9
8	資産取得資金の積立	9
9	令和2年度行事	10
	附属明細書	11

令和2年度事業報告

《 事業概要 》

公益財団法人としての本会の目的である、学校給食の円滑な実施とその充実発展及び食育の推進を積極的に支援するため、令和2年度においても、これまでと同様「学校給食用物資の安定供給事業」による良質で多種多様な物資の提供と価格の安定に努めた。さらに、ノロウイルスやO157による食中毒、学校給食用物資によるアレルギー事故、重大な異物混入事故の防止などを引き続き実施した。

令和2年度前半は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月まで引続き学校が臨時休業となったため在庫過多となり、賞味期限間近な物資は割引により販売を促進し、6月以降は4月・5月の売上げ減をカバーすることにつなげた。しかし、年度後半は、野菜価格の高騰や行事食の見合わせ等により売上げが伸びず、前年度比微増に留まった。また、「親子食育実践教室」をはじめとする各種事業の多くは中止のやむなきに至った。

また、令和2年の山口県産米の収穫は、トビイロウンカや台風による塩害のため不作となり、令和3年度学校給食用米の全量確保が難しい状況となったことから、令和元年産米の提供期間を延長した。

I 役員・評議員・職員等の数（令和3年3月31日現在）

理事	7名（理事長1 常務理事1 理事5）
監事	2名
評議員	9名
職員	11名（男8 女3） 再採用職員 2名（男2）
臨時職員	20名（男16 女4）
パート職員	3名

II 学校給食会の事業

- 学校給食用物資の安定供給に関する事業
- 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業
- 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業
- その他（災害救助の支援物資の供給）

1 新型コロナウイルス感染拡大のため中止等になった事業

(1) 以下の事業について新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

【学校給食用物資の安定供給に関する事業】

・物資選定委員会

【学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業】

・親子食育実践教室

・山口県学校給食研究協議大会

【学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業】

・学校給食用パンの品質審査

・学校給食衛生管理指導者講習会

(2) 以下の助成事業については新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、会議の開催や料理教室等の実施がされず応募が無かった。

・公募型の助成

学校給食関係者が、県外で開催される学校給食に関わる講演会、研修会等に参加する場合に、旅費の半額を助成する。

児童生徒及び保護者を対象とした食育に関する講習会、学校給食料理教室等の開催などに助成する。

・一般物資助成

学校給食に関わる者・団体等が児童生徒やその保護者を対象に学校給食の充実発展、食育推進に関する事業を実施する場合に、必要な食材の無償提供を行う。

2 学校給食用物資の安定供給に関する事業

(1) 種類別学校数・対象者数（児童・生徒・教職員）

完全給食 種 別		令和2年度		令和元年度		増 減	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
小学校	公立	278	71,520	282	72,712	△4	△1,192
	国立	2	836	2	836	0	0
	計	280	72,356	284	73,548	△4	△1,192
中学校	公立	143	35,729	144	35,916	△1	△187
	国立	1	275	1	276	0	△1
	計	144	36,004	145	36,192	△1	△188
特別支援学校(国立含)		13	2,457	13	2,402	0	+55
合 計		437	110,817	442	112,142	△5	△1,325

※ 参考資料：令和元年度、令和2年度「教育委員会・学校一覧」より算出。

①学校数は本校のみ

②人数は児童生徒数に教職員を含めた数である。

③高森みどり中、下関中等教育は公立中学校に含める。

(2) 共同調理場の状況

500人以下(29)	501人～1,000人以下(6)
1,001人～2,000人以下(8)	2,001人～3,000人以下(12)
3,001人～4,000人以下(3)	4,001人～5,000人以下(1)

合 計 59 調理場 (前年比±0)

(3) 物資取扱の実績 (数量・金額)

① 実績 (数量・金額)

(単位：千円)

品 名	令和2年度		令和元年度		増減
	取扱数量	売上高 (税抜)	取扱数量	売上高 (税抜)	売上高 (税抜)
パン	5,503,468 食	251,734	5,293,710 食	239,147	12,587
委託炊飯 (米飯)	4,912,978 食	279,466	5,113,359 食	287,206	△7,740
自校炊飯 (精米・アルファ化米等)	570,547kg	179,889	543,264 kg	168,051	11,838
小 計		711,089		694,404	16,685
一 般 食 品	/	301,707	/	303,316	△1,609
冷 凍 食 品		664,350		648,926	15,424
非 食 品		2,958		3,229	△271
小 計		969,015		955,471	13,544
合 計		1,680,104		1,649,875	30,229

② 概 況

令和2年度は、令和元年度3月に引き続き4月、5月の新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校臨時休業の影響で、基本物資、一般物資とも例年通りの学校給食が提供できなかったため、臨時休業のなかった平成30年度以前と比較すると売り上げは減少した。

基本物資については、児童・生徒の減少傾向に歯止めがきかず、売り上げは前年と比較すると微増となっているが平成30年度以前からは減少している。さらに下関地域での共同調理場設置の予定もあり、委託炊飯が自校炊飯に切り替わるとさらなる売り上げの減少も危惧される。

精米は従来19地域毎に提供してきたが、新型コロナウイルスの影響により仮に一部学校が休業となった場合、他地域に提供できなくなる恐れがある。また、学校休業により保管していた精米を給食に提供できなくなった場合に市販に回せるよう、今年度は県産統一米とした。さらに、令和2年の山口県産新米は台風の塩害と収穫前のトビイロウンカの甚大な被害により収穫量が激減し、令和3年度の需要量の確保が困難となったため、新米提供について例年の12月を1月(一部地域は2月)に遅らせると共に、引き続き各地域米ではなく県内統一米とした。

一般物資については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月、5月の給食中止により大量の在庫を抱えることとなった。賞味期限切れ等による廃棄ロスを防ぐため、過在庫となった物資の販売促進に積極的に取り組んだことなどから、前年度を上回る売り上げを確保することができた。しかし、11月以降、行事食の販売促進などに奮起したが、野菜価格の高騰に加え、3学期の季節行事食の中止等により高額商品が出なかったことにより平成30年

度と比較し売り上げは減少した。

(4) 良質で多種・多様な物資の調達

基本物資のパン用小麦粉、炊飯、精米のほか、一般物資として2,500品目を取り扱い、問題となっているアレルギー対応の食材についても学校からの要望に応じている。

(5) 安定価格の維持と安定的な供給

取扱物資の価格は、年度当初に公開し、年間を通じて公表価格以下に抑制し、給食内容の維持、保護者の負担軽減を図るとともに、公益財団法人としての役割を果たすため製造メーカー等との交渉を通じ廉価で良質な物資の確保・供給に努めた。

また、たけのこ、ほうれん草、フルーツ缶詰類等、旬の季節食材約13品目については、収穫時に一括購入するなど、年間を通して安定した価格でかつ安定供給できるよう努めた。

(6) 配送体制の確立

2トントラック（仕切り付き冷凍車）10台、軽トラック（冷凍車）1台を配置し、山間部や離島を含めた県下全域に、1年を通じて遅配や欠配をすることのない配送体制を確立している。また、緊急配送の要請にも可能な限り対応した。

(7) 物資の保管

仕入れた給食物資は、当法人が保有する常温倉庫（約846㎡）及び冷凍冷蔵倉庫（約752㎡）で保管している。ロット管理をシステム化することにより、賞味期限切れ物資の出庫防止に努めている。また、一括購入した冷凍野菜等については、民間倉庫に保管を委託した。

3 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業

(1) 主催・共催（県教育委員会及び関係諸団体）で、学校給食関係者や保護者・児童を対象に各種の講演会・研修会をとおして食育推進のための支援事業を実施した。

①学校給食功労者の表彰

現場士気の向上を図るため、学校給食功労者に表彰状と記念品を送付して表彰を行った。

例年、山口県学校給食研究協議大会において表彰式を実施していたが大会を中止としたため、表彰状等の送付のみとした。

②学校給食料理コンクールの開催

夏休み期間中に、山口県内の小中学校児童生徒の工夫に満ちた料理を募集し、コンクールを実施した。

募集期間	令和2年 8月 1日（土）～ 10月12日（月）
書類審査	書面開催
最終審査	令和2年12月 15日（火）13時30分～
応募学校数	小学校 30校 中学校 19校

応募作品数 小学校 593作品 中学校 566作品

各賞 小学校 最優秀賞 1作品
下松市立花岡小学校6年 岩清水 恵「洋風けんちんがめ煮」
ほか 優秀賞 3作品 佳作 3作品 アイデア賞 3作品
中学校 最優秀賞 1作品
周南市立岐陽中学校2年 弘中 豊「夏みかん風味のさわやか酢鶏」
ほか 優秀賞 3作品 佳作 3作品 アイデア賞 3作品
主催 (公財) 山口県学校給食会
後援 山口県教育委員会・山口県学校栄養士会

(2) 助成事業の実施

学校給食に関わる団体の活発な事業展開と関係者の資質の向上に寄与することを目的に以下の事業を実施した。

①特定団体への助成

山口県学校栄養士会 食育の推進及び指導に関する関係資料の作成等

山口県パン工業協同組合 衛生講習会 令和2年12月5日

学校給食用パン、米飯製造時における安心・安全の衛生意識向上
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施予定だった講習会等の一部が中止となった。)

(3) 施設の使用及び食育教材等の無償貸出事業

学校及び学校給食に関わる団体等に対し、当法人が保有する施設の使用及び食育教材等の無償貸付を実施した。

①指導用年代別給食・郷土料理モデルレプリカ、ビデオ・DVD (教材用、衛生管理)、各種オードブル皿、紙芝居の貸し出しを実施した。

(4) 食材情報提供

①本会取扱物資、県産商品、行事食等の情報をホームページやチラシ等で提供した。

4 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業

学校給食用物資の安全性及び衛生管理を徹底し、児童生徒の健康保持、増進に寄与した。

(1) 物資の適正管理

①学校給食用物資の安全性の確認 (書面による確認) 及び検査・検定の観点から業者に対し以下の学校給食用物資内容の提出を義務付けている。

- ・栄養分析表
- ・細菌検査表
- ・原料配分表・原料の原産地・食品添加物
- ・包装資材の試験成績表

- ・ 遺伝子組換え食品等調査票
- ・ アレルギー物資を含む食品に関する調査票
- ・ 産地証明書（山口県産原料について）
- ・ 確認書（物資カード記載の産地情報について相違ないとの捺印付の書面）
- ・ 製造工程表
- ・ 会社概要

②一般物資の検査

細菌感染を防ぎ安全安心な物資を提供するため肉や魚などのうち、年間を通して使用頻度の高い国産牛のスライスなど30品目について、細菌検査（大腸菌、ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクター）を3回実施した。

また、本会の取り扱う冷凍野菜20品目について、300成分の残留農薬検査を行い、より安全・安心な物資の提供を行った。検査は山口県予防保健協会に依頼した。

また、年3回行う30品目の細菌検査と同時に、それ以外で比較的使用率の高い20品目程度については、各メーカーに対し自社検査または公的検査による細菌検査を実施させた。

③基本物資の検査・検定

基本物資の精米・玄米・パン用小麦粉については品質検定を（一財）日本穀物検定協会に委託し実施した。さらに、今年度は19地域米ではなく県内統一米を収穫時に一括して玄米の残留農薬・カドミウム検査を実施した。

（2）学校給食用冷凍・冷凍冷蔵保管庫の無償貸付事業

学校給食施設において、学校給食用物資を適切に保管するため、学校給食用冷凍・冷凍冷蔵保管庫を無償・無期限で貸し付けを行っているが、本年度新規貸し付けの申込みはなかった。

（3）学校給食施設等における衛生管理の支援

①衛生検査器具の無償貸付事業

児童生徒に対し効果的な手洗いを指導するため、手洗いチェッカーやATP（拭き取り検査器具）・ふらん器などの貸出し及び試薬の無償提供を実施した。

（ア）手洗いチェッカー	24件	37台
（イ）ATP（拭き取り検査器具）	11件	11台

②指定委託工場の巡回調査実施

衛生管理の専門業者に依頼し、パンの製造や炊飯を委託している工場に対し、年2回、設備の衛生管理の状況を調査・指導し、製造従事者に衛生管理講習会を実施した。

また、クレーム件数の多い工場は後日、再調査及び衛生講習会を実施した。

第1回実施時期	令和2年7月7日～7月31日
調査対象	学校給食用パン・米飯加工委託工場（13工場）
第2回実施時期	令和3年2月2日～3月16日
調査対象	学校給食用パン・米飯加工委託工場（13工場）

③山口県産食材を使用した商品の製造を委託している工場の調査実施

本会が山口県産品を製造委託している県内外にあるメーカーの8工場に対して、本会が定めている工場の調査要綱に基づき、立ち入り調査を実施した。

実施時期 令和3年8月3～5日・25日、11月2・6日
(新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全て公用車での移動)

④異物混入等への対応（原因究明、改善対策指導・確認、報告）

発生時の対応から報告まで原因究明、改善策等の報告を行うとともに、重大な異物混入など給食事故を起こした加工委託工場に対し、必要に応じて専門業者による立入調査を実施しているが、令和2年度においては、重大な異物混入等の事案の発生はなかった。

⑤加工委託工場ATP拭き取り検査

加工委託工場の衛生管理取組体制強化を目的に月1回拭き取り検査を実施した。汚れを数値化することにより、調理器具や手指の洗浄不足、雑菌の繁殖等防止について作業従事者に分かりやすく指導をした。

⑥職員の検便の実施

毎月2回実施した。(10月～3月はノロウイルス検査を毎月1回追加で実施)

5 車両関係修理

当会の保有するトラックについて、昨年度のように大掛かりな修理は無かったが、足回りや電装、排気系など経年劣化による部分的な部品交換・修理が重なり、修理費用（車検整備を除く）が嵩んだ。

6 修繕

令和2年度、予算計上した大掛かりな修繕計画はなかったが、突発的な故障・劣化による不調等、緊急を要する修繕について、以下のとおり実施した。

- ・冷凍機用室外機の修理
- ・受水槽用揚水ポンプ弁取替
- ・下水管洗浄作業（トイレのつまり解消のため）
- ・室内電気配線改修、不要な電話線撤去
- ・調理準備室湯沸器修繕

7 設備投資

①システム改修（固定資産 ソフトウェア）

令和元年10月から稼働した基幹業務システムにおいて、既存機能の活用や運用ルールの変更で対応してもなお、物資の誤配、誤認の発生につながりかねない点が見受けられたことから、以下に挙げる項目の改善のため改修を行った。

○商品単位等（kgを基本としつつ、荷姿に合わせ、袋、本や入数などの単位）の情報を帳票に出力

⇒発注、入庫、荷造り時に単位等の誤認による数量相違を防ぐことが可能となった。

○発注書出力を納入日単位（同一商品でも納入日が異なると別々の発注番号が割り当てられる）から仕入先メーカー単位に変更（納入日が異なっても同じ発注番号が割り当てられる）
⇒納入日単位では、似たような内容の発注が何枚も送られることがあり、処理が煩雑になることから、特に数量変更や中止の際に誤認してしまう恐れがあったが、仕入先メーカー単位かつ物資ごとにデータをまとめる方式に変更することで防ぐことが可能となった。

○予定在庫数を、入力日当日を含む3日間の表示から、期間に関わらず、出荷のある日を全て表示するよう拡大（当日の締め処理後の反映からリアルタイムで画面に反映）

⇒全ての出庫予定日の在庫までわかるようになり、納入直前で在庫不足が判明し未納となることなどがなくなり、適正な在庫管理がより徹底できることとなった。

8 資産取得資金の積立

4月・5月に実施された休校措置に伴う学校給食中止などにより、大幅な赤字となったため、昨年度に引き続き、冷凍・冷蔵庫倉庫建替えのための積立は行っていない。

9 令和2年度行事

(1) 役員会・評議員会の開催

- | | |
|---------------------------|-----------|
| ①令和2年度第1回通常理事会（書面決議） | 令和2年6月3日 |
| 令和2年度定時評議員会（書面決議） | 令和2年6月22日 |
| （令和元年度事業報告案及び決算案の承認ほか） | |
| ②令和2年度第2回通常理事会（書面決議） | 令和3年3月19日 |
| 令和2年度第1回臨時評議員会（書面決議） | 令和3年3月26日 |
| （令和3年度事業計画案及び予算案の決議・承認ほか） | |

(2) 給食会主催

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ①物資選定委員会（年2回開催） | 中止 |
| ②令和2年度親子食育実践教室 | 中止 |
| ③学校給食用パンの品質審査 | 中止 |
| ④学校給食料理コンクール（最終審査会） | 令和2年12月15日 県給食会 |

(3) 関連会議・研修会（全国、中国・四国ブロック、県内）

①全国学校給食会連合会関係

- | | |
|----------------------------|------|
| 全国学校給食会連合会第1回監事会・定例理事会 | 書面審議 |
| 全国学校給食会連合会第1回定例総会 | 書面審議 |
| 全国学校給食会連合会第2回定例理事会 | 書面審議 |
| 全国学校給食会連合会第2回定例総会 | 書面審議 |
| 全国学校給食会連合会初任者研修会 | 中止 |
| 全国学校給食会連合会管理職研修会 | 中止 |
| 全国学校給食会連合会実務（衛生管理）担当者研修会 | 中止 |
| 第15回食育推進全国大会（愛知県） | 中止 |
| 第61回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会（栃木県） | 書面開催 |
| 第71回全国学校給食研究協議大会（熊本県） | 中止 |

②中国・四国ブロック関係

- | | |
|------------------------|------------|
| 中国・四国学校給食会代表者会議（岡山） | 中止 |
| 中国・四国物資安定対策協議会担当者会（香川） | 中止 |
| 中国・四国ブロック別研究協議会（山口） | 延期（令和3年度へ） |
| 中国・四国幹部職員研修会（徳島） | 中止 |

③県内

- | | |
|---------------|----|
| 山口県学校給食研究協議大会 | 中止 |
|---------------|----|

(4) その他

- | | |
|----------------|---------------|
| 職員研修会 | 令和2年8月5日 県給食会 |
| 学校給食衛生管理指導者講習会 | 中止 |

附 属 明 細 書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年5月
公益財団法人 山口県学校給食会